Vol. 1

R8年度狭山市

まちづくりワークショップ通信

20年後の狭山市について考える

まちづくりワークショップ開催！

狭山市では、20年後のまちの姿を参加者の皆さんと一緒に考える全4回のワークショップを開催しています。今回は全国のまちづくりの考え方や先進事例、狭山市の現状・課題を学びながら、地域住民や企業、行政など多様な主体が連携し、「気づく」「話し合う」「考える」「試してみる」「育てる」のサイクルを繰り返し、地域全員でまちをともに作りあげていくことの重要性について理解を深めました。また、後半は4つのグループに分かれて、狭山市駅東口エリアを中心に「20年後の狭山市」がどうなったら魅力的になるか、都市の姿をデジタル上に再現する「デジタルツイン」を活用しながら意見を出し合いました。

全4回のワークショップスケジュール

今回			
ガイダンス	知識インプット・課題整理	フィールドワーク	将来像づくり
第1回	第2回	第3回	第4回

第1回の様子

当日の流れ　ガイダンス ▸▸ グループワーク ▸▸ 発表







デジタル技術でまちを見える化

今回のワークショップでは、3D都市モデルやXR技術を活用し、狭山市駅東口エリアを立体的に確認しながら意見交換を行いました。今後のワークショップでも、参加者の皆さんから出されたアイデアをデジタル空間上で表現しながら、20年後の狭山市の将来像を具体的に検討していきます。

発行元：狭山市都市計画課

各グループで出た「こんなまちになれば良い」アイデア

Idea / 01

渋滞改善＋賑わいづくり

・渋滞の改善
・道の駅や
アスレチック公園
・屋内ドローン施設



Idea / 02

お茶・自然・緑「人と人とのつながり」

・市民交流の場
・茶摘み体験が
できる茶畑
・スポーツ施設



Idea / 03

お茶体験複合施設「多世代の交流」

・お茶の体験複合施設
・小さな祭りを多く開催
・農地の実験場



Idea / 04

住む人・通う人が心地よいまちへ

・大型商業施設周辺に
娯楽施設
・公共交通網を整備
することで全世代が
集まれる場所にしたい



アイデアの共通点

「賑わいづくり」と「多世代交流」

狭山茶の魅力発信や娯楽、商業施設の充実、
多世代が集まる拠点づくり、交通網の整理など・・・
たくさんの意見が出ました。



